



## 保育随想

### ★ 不透明な世の中で！

コロナウイルス感染予防の為の生活は、年が明けてからの半年間、恐怖と共に自分の生活を見直す期間でありました。年度末の卒園式、そして新年度の入園式、始業式の頃までは感染者数や地域が限られていたこともありましたが、三密を避ける気運が高まって来まして、幼稚園の活動でも誕生会などの折には、体育館での集まりを避けてクラス毎でのお祝いの形を執って参りました。しかしながら幼児期の学びは自らの体を使って獲得しておりますので、多くの場合、いわゆる学校形式での学びには限界がありまして、心情、意欲、そして態度の育成の流れも、友達同士で遊びの中で触れ合って、学びあい、育ちあう過程が必要不可欠なところでもあります。普段の生活に多くの規制を掛け過ぎますと子どもの自由な発想や遊びの広がりや発展も失われますので、楽しくなくなるのです。幼稚園の大事なところは、そこの意欲を育てる関わりが生命線なのであります。**自分が思うように関わってくれたら子どもは伸びる！**これは、子どもに限らずの話かも知れません。私達は子どもの変化する喜びを味わいながら日々送っております。いつも子ども達的心情に寄り添う毎日とも言えるのですが、子ども達から教えられる発見が楽しくも面白いのです。話が幾らか横道にそれましたが、コロナ防止対策とGO TOキャンペーンなる景気回復策との背中合わせのような流れの狭間の中、どなたも立場、立場で賛否両論、何を優先すべきかも迷うところでもあります。

この度の年長組さんの、お泊り保育の実施も、内容の違いはありますが、大いなる問題でありました。そこに、年長組さん全員の保護者の方から参加申込書を頂いたことは、大きな支えとなりました。近隣の幼稚園、保育園の同様の行事が押しなべて中止、若しくは部分活動で進めている中で、二度とない年長組さんのお泊り保育は、どうしても経験させたい！ 普段の生活では経験できない特別な学びをさせてあげたい！この一点でありました。ご案内する私共も感染の恐れは感じながらも、ご案内申し上げたところです。参加してくれた子どもが、体の不調もなく初めての環境で初めての生活をしながら、一生懸命に遊ぶ姿や歌声に感動して涙が出る思いの生活でした。そして、楽しかった！と言う声と笑顔に、一層の喜びを頂きました。このお泊り保育も子ども達にとりましては、初めての事への挑戦の機会が沢山あったことと思います。何をするにも目的を明快にして、御旗の印を掲げて進めることを、私達も学びました。いろいろと心配事は出てくるものですが、何を大事にするのか！一番したいことは何なのか！の順番を決めて進む積み上げは、自己肯定感を作り上げてゆく道のりなるのであらうと思います。幼稚園全般の生活を通しての願いではありますが、取り分け、今回のお泊り保育が実施できたことでの、子ども達の育ちを考えますと疲れよりも心躍る二日間になりました。先にも申し上げましたが、保護者の皆さまと一緒に心配して事に当たれたことも嬉しい嬉しいお土産になりました。私は、今回のお泊り保育を、挑戦！と位置付けて参りましたが、夏休み、そして二学期の子ども達の経験や活動・行事にも何を大事にするのかを中心に置いて、今回の学びを生かして参りたいと思います。